

# Eureka X

六年制通信 No.39 令和5年3月20日(月)号

## 學而不厭

Eureka Xの最終号です。六年制通信を書き始めて十年が経ちました。その折々に思いついたことを脈絡も考えず好きなように書いてきたので、読みにくかったことだろうと思います。また、納得できないところも多くあったでしょうね。私は恩師から「難しいことを易しく書けなければ本物ではないよ」としょっちゅう教えられてきたのですが、先生のような語彙力や表現力があるはずもなく、通信を書くたびに恥ずかしい思いを持ち続けています。また、同じようなことを何度も書いてきましたが、これは **Truth stands repetition.** (真実は繰り返しに耐える) を信じているからです。つい先日、四十過ぎの教え子が訪ねてきて、私の白髪に驚きながらも「先生がいつも言っておられた『平凡な毎日に負けるな』を忘れずに仕事をしています」と言ってくれました。今のSコース(当時はAコースと言いました)の生徒でしたが、あの頃生徒によく言い聞かせていた『論語』の「之を如何せん之を如何せんと問わざる者は、我これを如何ともするなきのみ」も覚えてくれていて、自分が会社で上司の立場になってあの言葉の意味がよくわかりますと言っていました。こういうの、嬉しいですね。思い起こせば彼らにも同じ話を何度も繰り返してきたのでした。そしてこれからも、教職にある限り自分の正しいと信じることを生徒諸君に話していこうと思います。あれ?ということは進歩していないということか。ま、浅学非才の悲しさですな。

『論語』には暗記するに値する多くの名句がありますが、私が大切にしているのは「述而第七」にある『學而不厭、誨人不倦』です。これの読みは「まなびていとわず、ひとにおしえてうまず」ですが、「ひとに」はわざわざ言わなくてもわかるので普通は「学びて厭わず、誨えて倦まず」と習います。もちろん「飽きることなく学び、途中で嫌にならず根気よく教える」という意味です。後半は教師にとっては大切な資質ですね。君たちは、学ぶことに飽きるということがあってはいけません。私は幸いにも学ぶことに飽きている人を見たことがありません。もし飽きている人がいるとすれば、それはそもそも学んでいない人ですね、きっと。確かに今の君たちのように、自分から望んでもいない教科を勉強させられるのは苦痛かもしれませんが、受験勉強というのは大学に入るまでの通過儀礼ですから辛抱して下さい。問題は入学した後です。さらに大学を卒業した後です。要するに大人になってからの話ですが、仕事を持ってどんなに忙しくなっても自分の本当に学びたいことを見つけてほしいし、学び続けてほしいと思います。少なくとも、全く本を読まない大人(たまにいらっしゃるのですが)にはなあってほしくないね。池田清彦の『やぶにらみ科学論』には「加速するバカ化」という章

があって、今の大学生の学力のなさを嘆いています。本を買う気が全くないとか、SNSが発達して以降「バカが意見を言うようになった」など、若者たちの不勉強を辛辣に批判していますが、君たちはそんなこと言われてはいけませんよ！

哲学者の西田幾多郎は「私の人生は、前半は黒板を前に座り、後半は黒板を背にして立った。極めて単純な人生だった」と回顧されましたが、そういった一見退屈そうな毎日の繰り返しの中にあっても、頭の中では実に多くの波乱が起こったことでしょう。これは本居宣長も同じで、何十年も鈴屋にあって生涯の大半を市井の学者として過ごしたわけですが、『源氏物語』を講義し『古事記』を読み解くなかでどれほどの波乱が彼に起こったことでしょう。よく平凡な人生は嫌だ、たった一度の人生を悔いなく生きたい、波乱万丈の人生を送りたい、あちこち放浪もしたい、そんなことを言う若者がいますが「學而不厭、誨人不倦」を、特に「學而不厭」を実践すると、別にあちこちを放浪しなくても波乱は頭の中で毎日のように起こります。やはり宣長も学問は「ただ年月長く、倦まず怠らずして、励みつとむるぞ肝要なれ」と言っていますが、これは真実ですね。だからこそ私もこの言葉を何度も引用してきました。君たちももう覚えたでしょう。宣長はただ「學而不厭」だけではなく、わざわざ「年月長く」をつけ足しています。これは宣長がこの言葉を書いた年齢と関係しているのでしょうかね。若いうちに「年月長く」とは、たとえわかってはいても書けません。これは宣長の実感に違いない、そう私は確信しています。私も若い時よりは今の方がずっと宣長の言葉が理解できるように思います。君たちも宣長のように勉強し続けてくださいね。

### 今週のおすすめ

・武藤駿雄 (むとうたけお) 『英単語連想記憶術』 (青春出版社)

バカバカしいことを大真面目に考えると、こういう本が出来上がる。英単語の簡単な覚え方、しかも一度覚えたら忘れない方法はないものか。そうだ、ゴロ合わせでやってみたらどうだろう。「ラーメン食べる悲しい受験生」うーむ、これだ、これを覚えたら lamentable = 「悲しい」と記憶に残るのではないだろうか。「ちっとばかり人だます」、これはもちろん cheat です。でも、「ちーとばかり…」の方が発音上はよくないですかね。「選んで使いを出す」、これは errand です。さて、だんだん苦しくなってきましたよ。「インド美女ある独特の美人」、こりゃ何ですかね。私はすぐに思い当たらなかったのですが individual なんだそうな。しかしちょっと無理していますよね。しかも、やはり「個人」と教えた方がいいです。さらに「パーティ失敗となり参加する者なし」、これを participate の連想記憶として使えましょうか。

私の高校時代は「ラーメン食べる悲しい受験生」に、お、これはよくできているなと思いつつ、いやこれはあまりにも無理やわ、という無理やりの連想を見つけては笑っていました。自分で考える奴もいたなあ。忘れただけ。

全体的には接頭辞接尾辞なども関連させながら、しっかり単語を覚えてもらおうとする著者の意思を感じます。むしろ、連想の部分はお楽しみにどうぞくらいです。

BGMは Joe Cocker & Jennifer Warnes の *Up Where We Belong* でした…。